

足見川の里山を守る会

活動紹介

■活動場所

足見川周辺地域及び内部地区・四郷（風致）地区

■活動頻度

年間6回程度。活動室での例会及び足見川周辺での野外学習。

■活動内容

2019年

- 1月 全国メガソーラー問題中央集会に参加（東京・なかのZERO）
翌日、環境省と経済産業省へ要請書を提出した。
- 3月 エコパートナー事業足見川バードウォッチング（現地視察）と「生きている森林」の危機（講演）、水・空気・大地・緑と市民生活をよくする会との合同企画。
- 6月 定例の足見川バードウォッチング（日本野鳥の会 三重 主催）に参加。（8名）
- 10月 三重県知事及び県議会宛て要望書（森林保全のための行政の権限強化を求めるもの）を伊勢志摩国立公園を大切にす市民の会と合同提出。
- 12月 環境フェアに出展（足見川の自然-メガソーラーから里山を守ろう）
風致条例の改正に関する説明会（四郷地区）に出席。

2020年

- 1月 四日市市環境計画策定に向けたアンケートに対するヒアリングに4名出席。
（活動室-環境保全課）

代表者の想い

政府は2030年までに地球温暖化防止・持続可能性の理念の下に再生エネルギー比率を22～24%に引き上げる方針であるが、実際には森林を伐採し、里山を顧みない利潤追求の再エネ施設が増えていく。一方再エネ施設は、台風・豪雨に弱く自然災害に強いとは言えない。また、国民に課せられる再エネ賦課金も急上昇している。真のエネルギーの在り方が問われている。

《2018年の活動》



《2019年11月足見川メガソーラー造成工事、西エリア地区の現場》

